

はばたき

■発行／秋田県大仙市教育委員会 太田公民館
TEL0187-88-1119



この QR コードから「はばたき」
バックナンバーへ

・巻頭言

今夏は酷暑が続きどうなるものかと心配しましたが、すっかり秋の気配です。今年もコロナ禍で秋の芸術文化行事が軒並み中止となっております。収束を願うばかりですが、コロナ禍に影響されない生涯学習活動の創出も必要を感じております。

・今月の主な活動

山登り教室（10/3）
チャレンジデー（10/27）

学校協働活動（9/7・29・30）



太田東小学校（4・5・6年生）「稻刈り」体験（9/30）



太田南小学校（4年生）「横沢曲がりねぎ栽培活動」収穫体験（9/29）



太田北小学校（全校）「国見さら」見学（9/7）

小学校の地域学習支援として、東小学校では稲刈りを体験。小松一男さん（東今泉）ほか地域の方、保護者 6名で指導にあたりました。南小学校では「曲がりねぎ」の収穫を体験。長澤猛さん（駒場）ほか 5名で指導にあたりました。北小学校は、国見さら保存会（会長仲村章輔）のメンバーによる「ささら」が披露されました。三小学生にとり故郷を知る大変よい機会となりました。

山登り教室（9/12）



和賀岳は正面の小鷲倉を

超えた先にある

9月12日（日）、午前7時、中級コース小杉山、上級コース和賀岳の2班に分かれてアタックを開始。

午前9時40分、上級者は薬師岳に登頂。中級者は15分遅れで登頂。その後、上級者は午前10時30分に小杉山を越え、11時50分に和賀岳登頂。奥羽山脈の奥深さを実感した登山となりました。

参加者15名（講師4人、職員1名）

第57回 全県花だんコンクール審査（9/16）



審査風景
(小神成地区田之尻)

1960（昭和35）年に「秋田県花いっぱい運動の会」が組織され、65（昭和40）年には第1回「全県花壇コンクール」開催されています。

昨年は全県から147の団体個人（地域・学校・家庭・職場の部）が参加し、太田北小学校が県教育長賞、後藤圭子さんが秋田魁新報社賞、下南地域花だんが県花いっぱい運動の会会长賞をそれぞれ受賞しています。今年の審査結果は10月下旬に発表されます。

『太田町史』を読む！（全12回）

第7回 路傍の石に込められた人びとの願い



路傍とは道ばたのことです。太田地域には数多くの石碑が建てられています。横沢地区には「お石」（写真縦横共に2m余り）と呼ばれる出羽三山の碑があり、稲の豊作を願い建てられた「田の神」「稻倉魂命」の石碑は各地区で見ることができます。町史1157～1175ページには、太田地域の民間信仰が詳しく紹介されています。いま新型コロナウイルス感染症により、私達のこれまでの生活様式は一変しました。実は150年ほど前にも、国中に天然痘が大流行し多くの人びとを苦しめました。その際、

太田地域では天然痘に御利益があるとされる「若木山（おさなぎさん）」（山形県東根市の若木神社が本社）の石碑が多く建てられました。ほかに脳卒中に御利益がある「青麻山（あおそさん）」（仙台市宮城野区の青麻神社が本社）の石碑もあります。近代以降、医学・農学が発達すると路傍の石は建てられなくなります。（太田公民館）